

# 第八回 荒川区区政改革懇談会

## グループ討議会議録：山吹

### 【日時】

1月11日（水）13:30～16:00

### 【場所】

荒川区役所 特別会議室

### 【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：その他

ステップ2：提言案について話し合おう

### ステップ1：はじめに

#### 【前回の話し合いの内容確認】

コンサルタントより、今日の話し合いの内容説明、前回の話し合いの内容確認、議事録の確認がなされた。議事録の「障がい者福祉」の部分にある、「区民の偏見」、「親の無理解」、「うしろめたさ」などといった表現は適切でないので、修正することとした。また今後「障がい者」という表記をすべて、より適切な「障がい児・者」という表現に置き換えることとした。

### ステップ2：提言案について話し合おう

コンサルタントより、基本構想策定に向けた提言案が配布され、内容の確認、修正すべき点について意見を出し合った。

#### 【産業・経済】

- ・ 目玉となる観光資源の発掘・整備の欄に「荒川百景」と記載されているが、区ではそのような内容の選定は行っていないことから、削除することにした。
- ・ 匠会館の設置という提案を委員以外にも様々な人に相談したところ、荒川区の個性を活かしたよい提案であるなどと好評のため、もっとクローズアップしてもらいたい。
- ・ 現在行われている荒川区の伝統工芸に関するPR活動は十分であるとは思えない。
- ・ 商店街の空き店舗等に伝統工芸の展示スペースを設けるなどして、もっとPRしていけないだろうか。
- ・ 伝統工芸技術を絶やさないためにも、いかにしてその技術を継承させていくかが課題である。
- ・ 伝統工芸は、一人前になるには10年から15年かかるのが通常だが、その期間、誰が養っていけるのか問題である。養成所のような施設の設置が必要なのではないか。
- ・ 伝統工芸技術を別の製品の開発に応用できないだろうか。
- ・ 匠の技術は世の中の需給関係で淘汰されてしまうことがあるが、匠の心は残していくべきである。できるだけ展示する機会を増やし、多くの人にその心を知ってもらうよう努力し続けなければなら

らない。

### 【教育】

- ・ 最近の教育の問題点として、厳しい教育ができていないことが挙げられる。
- ・ 教育というのは性質上、様々な制約を生徒に課さざるを得ないものであり、厳しく行われるのが通常である。
- ・ まちづくりの方向の序文にある「正常な授業を行い」の「正常な」という部分が誤解を生みやすい表現なので、「魅力的な厳しい授業」に変更してはどうか。

### 【障がい児・者福祉】

- ・ 荒川区の現状にある、「区民の偏見や、障がい者の親の無理解など・・・」は一部の人の問題であり、そうでない多くの区民や親の誤解を招く可能性があるため、「障がい児・者を取り巻く環境は変わりつつあるが、不十分な状態である。」に変更することとした。またその他の文にもある「障がい児・者の親」という特定の表現は削除し、書くにしても「障がい児・者の家族」などより包括的な表現を使うこととした。
- ・ 改善すべき点の、「家や施設に引きこもっている障がい者・・・」の文にある「家や施設に」の意味が捉えにくいことがあるので、「引きこもっている障がい児・者」に変更する。
- ・ 改善すべき点の、「障がい者の親が後ろめたさを感じる・・・」の文を、「障がい児・者とその家族が遠慮せずに生活できる地域づくりが必要である。」に変更する。
- ・ まちづくりの方向の序文「区民の意識改革に加え・・・親の意識改革を進め」の文を削除する。
- ・ 「障がい者の親も含めた区民の意識改革」を、「すべての区民の意識改革」に変更して、次の「障がい者自身の自立に向けた意識改革」と一つに統合する。
- ・ 「障がい者の親への教育」を削除する。
- ・ 「特に障がい者福祉と関わりを持っていない一般区民・・・」とあるが、基本的に誰も障がい児・者福祉とは、直接的にはないにしろ、関わりを持っているものなので、「特に障がい児・者福祉と直接関わりをもっていない一般区民・・・」に修正する。
- ・ 「障がい者の地域社会への参加誘導」とあるが「誘導」という表現は適切でないと思われるので、削除して「障がい児・者の地域社会への参加促進」とする。また同欄にある、「地域社会への誘導」は「地域社会への参画」に変更する。
- ・ 「知的障がい者の地域社会の一員・・・」という文は、同様の内容がすでに述べられているので削除する。

### 【区政】

- ・ 区民サービスの向上に、「迅速な対応」を追加する。
- ・ 条例の有効活用にある、「罰則規定の付加等遵守の徹底」の「遵守」の部分を「遵守」に変更する。
- ・ まちづくりの方向にある、「区民に開かれた小さな区政・・・」とあるが、「小さな区政」という言葉に、区民サービスの低下をイメージしてしまう人がいるのではないか。
- ・ 逆に、「小さな区政」といえば、効率的な運営、財政の削減といった、プラスのイメージを思い浮かべる方が強いのではないか。また民間ができるサービス事業は民間が請け負えば、競争の中でより良い区民サービスが生まれる可能性があるのではないか。

### ステップ3：その他

- ・ 議論がまとまりきらなかった「区政」や「教育」の一部修正箇所と、今回議論しきれなかったテーマについては次回の懇談会にて話し合うこととした。

#### 【次回について】

次回は、1月24日(火)の13:30より。